

議員とカダる会（議会報告会・意見交換会）報告書

開催日時	令和8年5月13日（水） 13時00分～14時30分
開催場所	青森大学 D棟 5102
会場責任者	小倉 尚裕
記録者	相馬 純子
出席議員	小倉 尚裕、澁谷 洋子、相馬 純子、工藤 夕介、柿崎 孝治、村川 みどり、藤田 誠、木下 靖、万徳 なお子、木村 淳司、中村 美津緒、工藤 健、里村 誠悦
参加者数	66名（大学生62名、教員4名）
報告内容	令和8年第1回青森市議会定例会の主な出来事について
意見交換内容 （意見の要旨）	テーマ 青森市の大雪について 【除排雪、観光、産業、教育、まちづくりとどう関連？】 【各班代表者のまとめ】※（）は教授から ○雪について 青森に住んでいる問題点として除雪の回数が足りなくて大変である。雪をどう生かしていけるかを考えていく必要がある。 ○今冬大変だったこと 除雪が入らないことやマイナス面はたくさんあったが、マイナス面だけではなく、プラス面として雪をお金に変える方法を考えていくことが大切だと思う。 ○青森市で雪をどうしていくか提案していく。 新町では海水による流雪を行っているが、車がさびる問題がある。雪捨て場を増やしていくにも固定資産税がかかるという問題もある。これらについてどうしていくか考えていく。 ○雪ペディアを青森大学で作っていく。 ○雪経験者（地元出身者）と雪未経験者（沖縄出身者）がグループにいるので、まちづくりについて話し合った。 大学のそばにスーパーがほしい。飲食店が増えるといい。便利なまちづくりを考える中で雪をどうしていくかを考えていく。 （雪の問題はまちづくりにつながっていく。まちづくりについて考えることは重要である。） ○国・県・市の連携が必要だと思う。少子高齢化によりオペレーターが不足している、雪に関するSNS情報はむやみに信じない、など様々な問題がある。その中でも冬期間や地震による津波が起こったらどうなるか。ハザードマップが必要ではないか。雪の中では避難することが難しい。 （真冬の避難訓練は必要だと考える。青森市には雪を研究・調査する機関がない。将来を見据えた研究をすべきである。） ○大学に通学する時、車道を歩かなければならない。インフルエンザに罹患し通院しようとバスを待ったが、1時間たってもバスが来ないので、そのまま帰宅した。正月も買い物できずに福袋が買えない。

	親戚にも会うことができない。様々なマイナス面がある。ただ、ビールが雪で冷えておいしいとか、食材がいたまないとかいいこともあるのでそこは伸ばしていくことがよい。 (メリット・デメリットについて、議員と学生とでコラボしていきましょう。) ○雪の課題と活用アイデアについて話し合った。海水を活用して融雪していく。冬まつりを行う。雪の中、ねぶたを運行する。平川市でねぶた運行はしているが、青森市でも行ってはどうか。 ○降雪で水が豊富なことはメリットである。水不足にはならない。通勤通学が雪で大変なので地下鉄があるといい。 (地下鉄あるといいが1km3億円かかるそうです。) ○除排雪業者について、生活道路の除雪の契約に行き届いていない面がある。ルールを緩くすると不公平な部分が出てくるし、厳しくすると除排雪を実施する業者が少なくなる。データ等情報をしっかりとらなければならないと思う。GPSを活用すると業者もきちんとやってくれるのではないかな。車を運転する市民も怖い思いをする。雪で車が故障すると、こちらは悪くないのに修理代は自己負担になる。 ○業者頼みになっている。ものすごく性能の良い除雪機ができない限り難しいのではないかな。 ○通学する時、歩道がない。歩道も除雪してほしい。家から出ない。交通網がマヒしているから。経済も停滞する。雪を活用して祭りを行うのもいいが、交通状況が改善しないとそもそもその会場に行くことができない。 ○メリット・デメリット様々ある。雪をどう生かしていくかが大切である。雪祭りをワラッセ近くでやる。雪かき大会をやる。歩道でスキーができるようにするとか。 (幸畑では雪で滑り台を作っている。新青森駅そばでイグルーを作る提案をしたが実現していない。) 【個別の意見】 ○雪のメリット ・きれい。冬を感じる。四季がはっきりしている。 ・イルミネーションなどがきれい。いつもの景色がきれいになる。 ・熊や虫が出ない。 ・雪は資源。田・ホタテ・川・水がなくなるらない。 ・物を冷やす。海の幸の保存。 ○雪のデメリット ・道路、車線が狭くなる。車に積もった雪をおろすのが大変。 ・信号のボタンが積雪で押せない。 ・大学に行けない。自転車が使えない。 ・灯油の配達が来ない。電線が断線した。 ・除雪が入ったとしても道路がぐちゃぐちゃだった。
--	--

	・道路に雪を捨てる人がいる。 ○雪の活用方法 ・雪で発電する。 ・ドバイに雪を運んでスキー場を作る。 ・雪をためて夏に使えるようにする。 ・雪かきを仕事にする。 ・サーバーの冷却に使う。 ・下半身の筋トレにいい。 ・教育に活用する。(雪像づくり、雪の観察、アイスづくり) ・雪の安全教育をする。 ・地域の雪で何かを作り、ライトアップする。 ・観光に活用する。(空き家の雪かき体験、かまくらづくり体験) ・年中スキーができるようにする。 ・大学で地域の除雪をする。 ○要望事項 ・除雪のスケジュールを教えてほしい。 ・市民とのコミュニケーションを図ってほしい。 ・早い段階で除雪を丁寧に行ってほしい。1～2月に集中除雪してほしい。坂の除雪はしっかりやってほしい。降ってから考えても遅い。 ・青森に住みたい。雪と賃金をどうにかしてほしい。 ・コールセンターについてだが、市に電話してもつながらない。つながるようにしてほしい。 ・店の入り口にマットを置いてほしい。マットがないと滑る。 ・青森市独自の制度を作る。固定資産税を工夫する。
記録者所見	雪をいかすアイデアが多く提案されていたことに希望を感じた。雪を楽しむイベント、雪まつり、雪のねぶた祭、雪かき大会、歩道のスキー、スノボ滑走等。若者ならではのアイデアだと感じた。ただ、その会場に行くことができるのかという現実的な意見にも納得させられ、交通機関のマヒの解消はアイデア実現の要である。また、冬の避難訓練の実施の提案についても、市は考えていかなければならないと思う。 青森市への若い世代の提案を前向きにとらえ、青森ならではの取組に生かしていきたい。

青森市議会議長 様

令和8年5月18日

上記のとおり報告いたします。

会場責任者 文教経済常任委員長 小倉 尚裕

